

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



あけましておめでとうござい
ます。かわら版、今年もよろし
くお願いいたします。

日常会話の中に含まれている
仏教用語を紹介し始めて丸三
年、そろそろ違う内容に変えよ
うかと思っていました。多く
の読者の皆さんから「もっと続
けて」とのご要望をいただきま
したので、今年も日常会話に含
まれる仏教用語についてお伝え
していきます。

嬉しい悲鳴とも言えますが、
日常会話に含まれている仏教用
語はほんとうにたくさんあるの
で、この調子だといつ終わるか
わかりません。嬉しいですが、何
だか微妙な気分です。

ここで使った「微妙」。これ
も仏教用語です。
仏教用語的には「ミミョウ」
と発音します。仏教徒には馴染
みの深い「三帰依文(さんきえ
もん)」という宣言文。これは、
仏・法・僧の「三宝(さんぼう)」
に帰依することを誓う決まり文
句のようなものですが、その中
に「無上で甚深(じんじん)に
して微妙(みみょう)なる法」
との出会いが大切です、と説か
れています。

お経にも「微妙」はけっこう
登場します。「無量寿経」とい
うお経には「微妙の法を説きた
もう」、玄奘三蔵が訳した「説
無垢称経(せつむくしようきよ
う)」には「微妙なるはこれ菩提
なり」などと説かれており、ほ
かにも随所に使われています。

仏の慈悲の心は「深遠微妙(じ
んのんみみょう)」であり、そ
の説法は「微妙法音(みみょう
ほうおん)」とも言います。
つまり、「微妙(みみょう)」
とは、言葉では言い尽くせない
奥深いこと、人間の理解を超え
た不思議さを表す言葉として使
われています。

したがって、仏教的には本来、
素晴らしいこと、人智を超えた
感覚、あるいは絶賛を表す意味
で使われていますが、現代の使
われ方は「微妙(ビミョー)」で
すよね。

「調子どう?」「うん、ビミョー」、
「これ美味しい?」「ビミョー」
という感じの若者の会話が思い
浮かびますが、中高年の皆さん
も最近では「これ、ちょっとビミョー
だね」などとごく普通に使って
ますね。
道理のわかった人、深い知恵

をもつ人は、小さなことにこだ
わらず、広い心で、全体を眺め
ながら、穏やかに、いろいろな
ことを考えています。そういう
心が「微妙(みみょう)」な心。
小さなことにこだわって、自分
の意に合う合わない、趣向に合
う合わないで、「これは微妙(ビ
ミョー)」などとはいいません。

現代の微妙(ビミョー)は英
語では「デリケート」。何とも判
断がつかず、少し否定的な意味
を込めているのが現代の微妙(ビ
ミョー)です。

仏の広い心は、生身の人間に
は理解しきれない(理解したら、
仏になります^笑)、身につけ
られないので、微妙(みみょう)
な覚りは人間には微妙(ビミョー)
なのかもしれません。

微妙(ビミョー)な人間関係
や社会の姿を、広く深い心で受
け止めれば、微妙(みみょう)
な気持ちで心穏やかに過ごせま
す。
それでは、また来月お会いし
ましょう。

※

耕平

大塚耕平の仏教シリーズ好評販売中!

新刊

お遍路さん必携
—四国霊場と般若心経—
大法輪閣 / 2017年



ISBN 9784804613994
定価 本体1,300円+税



仏教通史
「弘法さんかわら版」講座 弘法大師の生涯と覚王山
大法輪閣 / 2015年
既刊

ISBN 9784804613772
定価 本体1,400円+税

ISBN 9784804612775
定価 本体1,200円+税



かわら版執筆者大塚耕平
玉山「耕庵」 <https://ko-an.blog/>

〒事務所 ☎0527571955 担当:あさい
〒市千種区覚王山通9-19 覚王山プラザ2F

